

独立行政法人都市再生機構
建築工事積算特記基準

平成 23 年 4 月版

—— 街に、ルネッサンス ——



UR都市機構

「独立行政法人都市再生機構建築工事積算特記基準」は、独立行政法人都市再生機構における積算基準として適用する公共住宅建築工事積算基準（平成 22 年度版）の一部を読み替え及び追加等するものである。

* 都市再生機構建築工事積算特記基準の表中の項目は、公共住宅建築工事積算基準（平成 22 年度版）の項目を示す。

目 次

1 編	総 則	1
2 編	数 量	5
3 編	単 価	8
5 編	参 考 資 料	15

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）
1編 総則 1章 工事費の積算	
1節 適用範囲 1.1.2 適用範囲	<p><u>1.1.2は、以下に読み替える。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本基準は、都市再生機構が発注する住宅等の建築工事の積算に適用する。 2 前項の規定にかかわらず、国、都道府県、市町村等に委託する工事又は国、都道府県、市町村等から受託する工事については、当該事業主体の定めるところによることができる。 3 工法、発注方式、工事規模及び内容等が特殊なものでこの基準によることが適当でないと判断される場合には、本社と協議の上措置することができる。協議の方法は、文書によるものとする。
5節 共通費 1.5.2.5 総合発注 (一括発注) 工事の 共通仮設費	<p><u>1.5.2.5は、以下に読み替える。</u></p> <p>「建築工事」と「土木工事」、「機械設備工事」、「電気設備工事」、「造園工事」、「地質調査工事」、「保全工事（建築）」、「保全工事（機械）」、「保全工事（電気）」の2以上の工事を、総合して発注する場合の共通仮設費は、次による。</p> <p>なお、主たる工事の直接工事費と比較して、その他の工事の直接工事費の占める割合が軽微な場合は、主たる工事の単独工事扱いとすることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $\text{総合発注工事の共通仮設費} = A_1 \times \alpha_1 + A_2 \times \alpha + A_3 \times \alpha + A_4 \times \alpha + A_5 \times \alpha + A_6 \times \alpha + A_7 \times \alpha + A_8 \times \alpha + \dots + A_n \times \alpha$ </div> <p>上式における記号の意義は、次に掲げるところによる。</p> <p>A_1 : 建築工事の特殊工事費を含まない直接工事費 A_2 : 土木工事の共通仮設費対象額 ただし、共通仮設費対象額の扱いは土木・造園工事積算要領による。</p> <p>A_3 : 機械設備工事の特殊工事費を含まない直接工事費 A_4 : 電気設備工事の特殊工事費を含まない直接工事費 A_5 : 造園工事の共通仮設費対象額 ただし、共通仮設費対象額の扱いは土木・造園工事積算要領による。</p> <p>A_6 : 保全工事（建築）の特殊工事費を含まない直接工事費 A_7 : 保全工事（機械）の特殊工事費を含まない直接工事費 A_8 : 保全工事（電気）の特殊工事費を含まない直接工事費 A_n : A_1、A_2、A_3、A_4、A_5、A_6、A_7及びA_8以外の共通仮設費対象額</p> <p>α_1 : A_1の額に対する建築工事の共通仮設費率 α : 総直接工事費（各工事の特殊工事費を含まない直接工事費の合計）の額に対する各工事の共通仮設費率</p>

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）
<p>1.5.3.3 総合発注 （一括発注） 工事の 現場管理費</p>	<p>1.5.3.3は、以下に読み替える。</p> <p>「建築工事」と「土木工事」、「機械設備工事」、「電気設備工事」、「造園工事」、「地質調査工事」、「保全工事（建築）」、「保全工事（機械）」、「保全工事（電気）」の2以上の工事を、総合して発注する場合の現場管理費は、次による。</p> <p>なお、主たる工事の直接工事費と比較して、その他の工事の直接工事費の占める割合が軽微な場合は、主たる工事の単独工事扱いとすることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $\text{総合発注工事の現場管理費} = A_1 \times \alpha + A_2 \times \alpha + A_3 \times \alpha + A_4 \times \alpha + A_5 \times \alpha + A_6 \times \alpha + A_7 \times \alpha + A_8 \times \alpha + \dots + A_n \times \alpha$ </div> <p>上式における記号の意義は、次に掲げるところによる。</p> <p>A_1：建築工事の特殊工事費を含まない純工事費 A_2：土木工事の現場管理費対象額 ただし、現場管理費対象額の扱いは土木・造園工事積算要領による。</p> <p>A_3：機械設備工事の特殊工事費を含まない純工事費 A_4：電気設備工事の特殊工事費を含まない純工事費 A_5：造園工事の現場管理費対象額 ただし、現場管理費対象額の扱いは土木・造園工事積算要領による。</p> <p>A_6：保全工事（建築）工事の特殊工事費を含まない純工事費 A_7：保全工事（機械）工事の特殊工事費を含まない純工事費 A_8：保全工事（電気）工事の特殊工事費を含まない純工事費 A_n：A_1、A_2、A_3、A_4、A_5、A_6、A_7及びA_8以外の各工事の特殊工事費を含まない純工事費 α：総純工事費の額に対する各工事の現場管理費率</p>

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）
<p>1.5.4.3 総合発注 （一括発注） 工事の 一般管理費等</p>	<p><u>1.5.4.3は、以下に読み替える。</u></p> <p>「建築工事」と「土木工事」、「機械設備工事」、「電気設備工事」、「造園工事」、「地質調査工事」、「保全工事（建築）」、「保全工事（機械）」、「保全工事（電気）」の2以上の工事を、総合して発注する場合の一般管理費等は、次による。</p> <p>なお、主たる工事の直接工事費と比較して、その他の工事の直接工事費の占める割合が軽微な場合は、主たる工事の単独工事扱いとすることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $\text{総合発注工事の一般管理費等} = A_1 \times \alpha + A_2 \times \alpha + A_3 \times \alpha + A_4 \times \alpha + A_5 \times \alpha + A_6 \times \alpha + A_7 \times \alpha + A_8 \times \alpha + \dots + A_n \times \alpha$ </div> <p>上式における記号の意義は、次に掲げるところによる。</p> <p>A_1 : 建築工事の工事原価 A_2 : 土木工事の一般管理費等対象額 ただし、一般管理費等対象額の扱いは土木・造園工事積算要領による。</p> <p>A_3 : 機械設備工事の工事原価 A_4 : 電気設備工事の工事原価 A_5 : 造園工事の一般管理費等対象額 ただし、一般管理費等対象額の扱いは土木・造園工事積算要領による。</p> <p>A_6 : 保全工事（建築）工事の工事原価 A_7 : 保全工事（機械）工事の工事原価 A_8 : 保全工事（電気）工事の工事原価 A_n : A_1、A_2、A_3、A_4、A_5、A_6、A_7及びA_8以外の各工事の工事原価 α : 総工事原価の額に対する各工事の一般管理費等率</p>
<p>1.5.5 特殊工事費</p>	<p><u>1.5.5に、以下を追記する。</u></p> <p>(4) 収納ユニット家具の工場製作費 (5) ブラインドの工場製作費</p>
<p>7節 変更工事 1.7.1 変更工事</p>	<p><u>1.7.1の2は、以下に読み替える。</u></p> <p>2 落札率は、次式により算定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $\text{落札率} = \frac{\text{当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額}}{\text{当初工事費内訳書記載の工事価格}}$ </div> <p>ただし、落札率は小数点以下第3位までを求める。</p>

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）																											
10節 端数整理 1.10.1 端数整理	<p data-bbox="454 181 885 215"><u>1.10.1として、以下を追記する。</u></p> <p data-bbox="486 221 1417 293">工事費積算に係る数量及び金額の端数は、次の1及び2に定めるところにより整理する。</p> <p data-bbox="486 297 1417 369">1 内訳書に計上する数量……原則として小数点以下第2位を四捨五入する。ただし、100以上の数値については四捨五入して整数とする。</p> <p data-bbox="486 374 821 407">2 内訳書に計上する金額</p> <p data-bbox="510 412 805 448">(1) 単価及び複合単価</p> <table data-bbox="574 452 1428 607"> <tr> <td>10,000円以上</td> <td>……………</td> <td>100円未満切捨て</td> </tr> <tr> <td>1,000円以上 10,000円未満</td> <td>……………</td> <td>10円未満切捨て</td> </tr> <tr> <td>100円以上 1,000円未満</td> <td>……………</td> <td>1円未満切捨て</td> </tr> <tr> <td>100円未満</td> <td>……………</td> <td>1円未満切捨て</td> </tr> </table> <p data-bbox="510 611 726 645">(2) 細目等</p> <table data-bbox="574 649 1428 842"> <tr> <td>細目（数量×単価）</td> <td>……………</td> <td>1円未満切捨て</td> </tr> <tr> <td>科目（細目の計）</td> <td>……………</td> <td>1円未満切捨て</td> </tr> <tr> <td>種目（科目の計）</td> <td>……………</td> <td>1円未満切捨て</td> </tr> <tr> <td>工事価格（内訳書の合計金額）</td> <td>……………</td> <td>1,000円未満切捨て</td> </tr> <tr> <td>消費税等相当額</td> <td>……………</td> <td>1円未満切捨て</td> </tr> </table>	10,000円以上	……………	100円未満切捨て	1,000円以上 10,000円未満	……………	10円未満切捨て	100円以上 1,000円未満	……………	1円未満切捨て	100円未満	……………	1円未満切捨て	細目（数量×単価）	……………	1円未満切捨て	科目（細目の計）	……………	1円未満切捨て	種目（科目の計）	……………	1円未満切捨て	工事価格（内訳書の合計金額）	……………	1,000円未満切捨て	消費税等相当額	……………	1円未満切捨て
10,000円以上	……………	100円未満切捨て																										
1,000円以上 10,000円未満	……………	10円未満切捨て																										
100円以上 1,000円未満	……………	1円未満切捨て																										
100円未満	……………	1円未満切捨て																										
細目（数量×単価）	……………	1円未満切捨て																										
科目（細目の計）	……………	1円未満切捨て																										
種目（科目の計）	……………	1円未満切捨て																										
工事価格（内訳書の合計金額）	……………	1,000円未満切捨て																										
消費税等相当額	……………	1円未満切捨て																										

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）
2編 数量 1章	直接工事費
3節 土工事 1.3.6 仮置土運搬 （往路） 仮置土運搬 （復路）	1.3.6の2は、以下に読み替える。 2 現場の状況に応じて工区内仮置き、団地内仮置き及び団地外仮置きに区分して計上する。
1.3.9 建設発生土処分 運搬費 処分費	1.3.9の2は、以下に読み替える。 2 運搬費は、設計図書に基づき、工区内処分、団地内処分、団地外処分に区分し、計上する。 また、団地外処分の場合は、運搬距離（最短距離）を明記の上、必要に応じて有料道路の通行料金を計上する。
1.4.2.6 建設発生土処分 運搬費 処分費	1.4.2.6の2は、以下に読み替える。 2 運搬費は、設計図書に基づき、工区内処分、団地内処分、団地外処分に区分し、計上する。 また、団地外処分の場合は、運搬距離（最短距離）を明記の上、必要に応じて有料道路の通行料金を計上する。
1.4.3.2 鉄 筋	1.4.3.2は、以下に読み替える。 t 設計数量×材料価格等 規格、径別に区分し、計上する。
1.4.3.3 鋼 材	1.4.3.3は、以下に読み替える。 t 設計数量×材料価格等 規格、板厚別に区分し、計上する。
1.4.3.7 スクラップ [°] 控除	1.4.3.7の削除。
5節 鉄筋工事 1.5.2 材 料 棒 鋼 スパイラル筋 梁貫通孔補強筋	1.5.2は、以下に読み替える。 t 設計数量×材料価格等 規格、径別に区分し、計上する。
1.5.3 スクラップ [°] 控除	1.5.3の削除。

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）		
7節 型枠工事 1.7.5 貫通用スリーブ	<p><u>1.7.5として、以下を追記する。（「その他工事」から「型枠工事」へ移動）</u></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; vertical-align: top;">か所 (m)</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×複合単価等</div> 材種、径、寸法別に区分し、計上する。ただし計上については、 図面特記等で工事範囲を確認すること。 </td> </tr> </table>	か所 (m)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×複合単価等</div> 材種、径、寸法別に区分し、計上する。ただし計上については、 図面特記等で工事範囲を確認すること。
か所 (m)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×複合単価等</div> 材種、径、寸法別に区分し、計上する。ただし計上については、 図面特記等で工事範囲を確認すること。		
8節 鉄骨工事 1.8.2.1 鋼材	<p><u>1.8.2.1は、以下に読み替える。</u></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; vertical-align: top;">t</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×材料価格等</div> 規格、形状、寸法、板厚別に区分し、計上する。 </td> </tr> </table>	t	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×材料価格等</div> 規格、形状、寸法、板厚別に区分し、計上する。
t	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×材料価格等</div> 規格、形状、寸法、板厚別に区分し、計上する。		
1.8.2.3 ボルト類	<p><u>1.8.2.3は、以下に読み替える。</u></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; vertical-align: top;">組 (t)</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×材料価格等</div> ボルト類などは、原則として、規格、形状、寸法ごとに組数又は、 質量に換算したものとする。 なお、適切な統計値などに基づく組数又は、質量によること ができる。 </td> </tr> </table>	組 (t)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×材料価格等</div> ボルト類などは、原則として、規格、形状、寸法ごとに組数又は、 質量に換算したものとする。 なお、適切な統計値などに基づく組数又は、質量によること ができる。
組 (t)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×材料価格等</div> ボルト類などは、原則として、規格、形状、寸法ごとに組数又は、 質量に換算したものとする。 なお、適切な統計値などに基づく組数又は、質量によること ができる。		
1.8.2.4 仮設ブレース等	<p><u>1.8.2.4は、以下に読み替える。</u></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; vertical-align: top;">t</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×複合単価等</div> 仮設ブレースは、スクラップ控除をする。 </td> </tr> </table>	t	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×複合単価等</div> 仮設ブレースは、スクラップ控除をする。
t	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計数量×複合単価等</div> 仮設ブレースは、スクラップ控除をする。		
1.8.2.5 スクラップ控除	<p><u>1.8.2.5の削除。</u></p>		
9節 既製コンクリート工事 1.9.2 補強コンクリートブロック	<p><u>1.9.2に、以下を追記する。</u></p> <p>副材料費（砂、セメント、鉄筋等）は、コンクリートブロックの複合単価等に含むものとする。</p>		
10節 防水工事 1.10.1 一般事項	<p><u>1.10.1の2は、以下に読み替える。</u></p> <p>2 防水材料の「ロス」、重ね代、副資材等の材料、手間及び運搬費、防水層廻りにおける衛生器具、配管などの周囲の処理は、複合単価等に含むものとする。</p>		
1.10.8 モルタル防水	<p><u>1.10.8の削除。</u></p>		
12節 タイル工事 1.12.1 一般事項	<p><u>1.12.1は、以下に読み替える。</u></p> <p>1 部位、材質、種別、形状、工法、下地別に区分し、計上する。</p>		
1.12.6 外壁タイル型枠 先付け	<p><u>1.12.6の削除。</u></p>		

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）																													
15 節 左官工事 1.15.1 一般事項	<p><u>1.15.1 に、以下を追記する。</u></p> <p>4 役物類は、表 1.15.1「役物類の部位区分」を標準とし、設計寸法又は図示の寸法による糸尺及び高さごとに延べ長さを計上する。</p> <p>表 1.15.1 役物類の部位区分</p> <table border="1" data-bbox="480 349 1410 714"> <thead> <tr> <th rowspan="2">仕上 部位</th> <th>モルタル(防水モルタル)塗</th> <th>コンクリート金ごて</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>糸尺寸法(幅:W、高さ:H)</th> <th>糸尺寸法(幅:W、高さ:H)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅 木</td> <td>$0 < H \leq 0.3\text{m}$</td> <td>—</td> <td>階段ささら幅木含む</td> </tr> <tr> <td>笠 木</td> <td>$0 < W \leq 0.5\text{m}$</td> <td>$0 < W \leq 0.3\text{m}$</td> <td>パラペット含む</td> </tr> <tr> <td>水 切 り ・ 窓 台</td> <td>$0 < W \leq 0.17\text{m}$</td> <td>$0 < W \leq 0.3\text{m}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排 水 溝</td> <td>$0 < W \leq 0.5\text{m}$</td> <td>—</td> <td>ピット、屋上の排水溝</td> </tr> <tr> <td>$0 < W \leq 0.1\text{m}$</td> <td>$0 < W \leq 0.1\text{m}$</td> <td>バルコニー、廊下の排水溝</td> </tr> <tr> <td>ボーダー</td> <td>$0 < W \leq 0.15\text{m}$</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	仕上 部位	モルタル(防水モルタル)塗	コンクリート金ごて	備 考	糸尺寸法(幅:W、高さ:H)	糸尺寸法(幅:W、高さ:H)	幅 木	$0 < H \leq 0.3\text{m}$	—	階段ささら幅木含む	笠 木	$0 < W \leq 0.5\text{m}$	$0 < W \leq 0.3\text{m}$	パラペット含む	水 切 り ・ 窓 台	$0 < W \leq 0.17\text{m}$	$0 < W \leq 0.3\text{m}$		排 水 溝	$0 < W \leq 0.5\text{m}$	—	ピット、屋上の排水溝	$0 < W \leq 0.1\text{m}$	$0 < W \leq 0.1\text{m}$	バルコニー、廊下の排水溝	ボーダー	$0 < W \leq 0.15\text{m}$	—	
仕上 部位	モルタル(防水モルタル)塗		コンクリート金ごて	備 考																										
	糸尺寸法(幅:W、高さ:H)	糸尺寸法(幅:W、高さ:H)																												
幅 木	$0 < H \leq 0.3\text{m}$	—	階段ささら幅木含む																											
笠 木	$0 < W \leq 0.5\text{m}$	$0 < W \leq 0.3\text{m}$	パラペット含む																											
水 切 り ・ 窓 台	$0 < W \leq 0.17\text{m}$	$0 < W \leq 0.3\text{m}$																												
排 水 溝	$0 < W \leq 0.5\text{m}$	—	ピット、屋上の排水溝																											
	$0 < W \leq 0.1\text{m}$	$0 < W \leq 0.1\text{m}$	バルコニー、廊下の排水溝																											
ボーダー	$0 < W \leq 0.15\text{m}$	—																												
1.15.19 打 継 目 地 モルタル詰め	<p><u>1.15.19 として、以下を追記する。</u></p> <p>m 設計数量×複合単価等</p>																													
21 節 内外装工事 1.21.1 一般事項	<p><u>1.21.1 の 4 は、以下に読み替える。</u></p> <p>4 フローリング、ビニル系床材のワックスがけは、整理清掃後片付けに含むものとし計上しない。</p>																													
23 節 その他工事 1.23.2 貫通用スリーブ	<p><u>1.23.2 の削除。（「その他工事」から「型枠工事」へ移動）</u></p>																													

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）																									
3編 単価 1章 総則																										
1節 基本的事項 1.1.2 一般事項	<p><u>1.1.2として、以下を追記する。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 単価は、地域ごとかつ原則として各年度上期及び下期に定める。 単価は、原則として当該工事を所掌する支社長及び地域支社長（以下「支社長等」という。）が近接の支社長等と総合調整を図り定める。 																									
2節 単価及び価格の算定 1.2.1 材料価格等	<p><u>1.2.1は、以下に読み替える。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 材料価格等は、積算時の最新の現場渡し価格とし、物価資料等の掲載価格又は製造業者の見積価格等を参考に定める。 <ol style="list-style-type: none"> 構造主体部分に使用する鋼材、レディーミクストコンクリート及び既成杭 合板 鋼材等については、ロス及びスクラップ控除相当分を含んだ単価とし、次表による補正率を乗じた単価とする。 <p style="text-align: center;">鋼材等の補正率</p> <table border="1" data-bbox="555 801 1353 1093"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>細目</th> <th>補正率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地業工事</td> <td>棒鋼</td> <td>102%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>棒鋼</td> <td>103%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄骨工事</td> <td>形鋼・鋼管・平鋼</td> <td>104%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広幅平鋼・鋼板(切板)</td> <td>102%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボルト類</td> <td>103%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>デッキプレート</td> <td>104%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. アンカーボルト類は補正なし</p> 	科目	細目	補正率	備考	地業工事	棒鋼	102%		鉄筋工事	棒鋼	103%		鉄骨工事	形鋼・鋼管・平鋼	104%		広幅平鋼・鋼板(切板)	102%		ボルト類	103%		デッキプレート	104%	
科目	細目	補正率	備考																							
地業工事	棒鋼	102%																								
鉄筋工事	棒鋼	103%																								
鉄骨工事	形鋼・鋼管・平鋼	104%																								
	広幅平鋼・鋼板(切板)	102%																								
	ボルト類	103%																								
	デッキプレート	104%																								
1.2.2 複合単価	<p><u>1.2.2に、以下を追記する。</u></p> <p>複合単価は、各地域別に当該年度の適切な時期に2章「標準歩掛り」による複合単価と物価資料等の掲載価格を勘案し、市場動向に対応した単価を設定する。</p>																									
1.2.3 市場単価	<p><u>1.2.3に、以下を追記する。</u></p> <p>単価は、各季刊ごとに定める。</p>																									
3節 歩掛り 1.3.1 歩掛り	<p><u>表1.3.1の注釈は、以下に読み替える。</u></p> <p>(注) 1 表中(材)は「材料費」、(労)は「労務費」、(雑)は「運搬費及び消耗材料費等」を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 既の下請経費等が含まれている複合単価を採用するもの(物価資料等の掲載価格及び専門工事業者の見積価格による複合単価)については、重複計上しないよう留意する。 「その他」の率については、当該工事の規模、内容、施工の難易、期間、需要の状況等を勘案し、下限値から上限値までの間で「その他」の率を本社と協議の上、定めることができる。 																									

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）																										
3編 単価 2章	標準歩掛り（直接工事費）																										
1節 直接仮設工事 2 標準歩掛り (1) 適用条件及び留意事項	<p><u>2 標準歩掛り (1)適用条件及び留意事項 ニ及びへは、以下に読み替える。</u></p> <p>ニ. 外部足場の設計共用日数は、基礎コンクリート完了（地下階のある場合は、1階床完了）から完成工期の1か月前までの設置期間に、下記に示す建物階数による設置期間係数を乗じたものを標準とする。ただし、現場説明書等で、足場撤去時期が明記されている場合は、それにより算定する。また、その場合の月数は、小数点以下第2位を四捨五入する。</p> <p style="text-align: center;">建物階数による設置期間係数</p> <table border="1" data-bbox="493 568 1437 696"> <thead> <tr> <th>建物階数</th> <th>1階</th> <th>2階</th> <th>3階</th> <th>4階</th> <th>5階</th> <th>6・7階</th> <th>8～10階</th> <th>11～14階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>係数</td> <td>1.00</td> <td>0.95</td> <td>0.90</td> <td>0.85</td> <td>0.80</td> <td>0.75</td> <td>0.70</td> <td>0.65</td> </tr> </tbody> </table> <p>へ. 安全手すりの設計共用日数は、基礎コンクリート完了（地下階のある場合は、1階床完了）から完成工期の1か月前までの設置期間とする。手すり先行方式を採用の場合は、最上階の下階のコンクリート完了から完成工期の1か月前までの設置期間とする。ただし、現場説明書等で、足場撤去時期が明記されている場合は、それにより算定する。また、その場合の月数は、小数点以下第2位を四捨五入する。</p>	建物階数	1階	2階	3階	4階	5階	6・7階	8～10階	11～14階	係数	1.00	0.95	0.90	0.85	0.80	0.75	0.70	0.65								
建物階数	1階	2階	3階	4階	5階	6・7階	8～10階	11～14階																			
係数	1.00	0.95	0.90	0.85	0.80	0.75	0.70	0.65																			
2節 土工事 表 2.4 仮置土運搬 (往路)	<p><u>表 2.4 は、以下に読み替える。</u></p> <p style="text-align: right;">(1 m³当たり)</p> <table border="1" data-bbox="488 1128 1442 1301"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>摘要</th> <th>単位</th> <th>団地外</th> <th>団地内</th> <th>工区内</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>10t 車</td> <td>日</td> <td>D/100</td> <td>D/100</td> <td>—</td> <td rowspan="3">運転日数(D)は別表による。</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>油圧式 0.8m³</td> <td>日</td> <td>(0.0044)</td> <td>(0.0044)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>3t</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.0077</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ()内数値は、仮置き場所が比較的狭く、堆積が必要な場合に加算することができる。</p>	名称	摘要	単位	団地外	団地内	工区内	備考	ダンプトラック運転	10t 車	日	D/100	D/100	—	運転日数(D)は別表による。	バックホウ運転	油圧式 0.8m ³	日	(0.0044)	(0.0044)	—	ブルドーザ運転	3t	日	—	—	0.0077
名称	摘要	単位	団地外	団地内	工区内	備考																					
ダンプトラック運転	10t 車	日	D/100	D/100	—	運転日数(D)は別表による。																					
バックホウ運転	油圧式 0.8m ³	日	(0.0044)	(0.0044)	—																						
ブルドーザ運転	3t	日	—	—	0.0077																						
表 2.5 仮置土運搬 (復路)	<p><u>表 2.5 は、以下に読み替える。</u></p> <p style="text-align: right;">(1 m³当たり)</p> <table border="1" data-bbox="488 1500 1442 1673"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>摘要</th> <th>単位</th> <th>団地外</th> <th>団地内</th> <th>工区内</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>10t 車</td> <td>日</td> <td>D/100</td> <td>D/100</td> <td>—</td> <td rowspan="3">運転日数(D)は別表による。</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>油圧式 0.8m³</td> <td>日</td> <td>0.0044</td> <td>0.0044</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>3t</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.0077</td> </tr> </tbody> </table>	名称	摘要	単位	団地外	団地内	工区内	備考	ダンプトラック運転	10t 車	日	D/100	D/100	—	運転日数(D)は別表による。	バックホウ運転	油圧式 0.8m ³	日	0.0044	0.0044	—	ブルドーザ運転	3t	日	—	—	0.0077
名称	摘要	単位	団地外	団地内	工区内	備考																					
ダンプトラック運転	10t 車	日	D/100	D/100	—	運転日数(D)は別表による。																					
バックホウ運転	油圧式 0.8m ³	日	0.0044	0.0044	—																						
ブルドーザ運転	3t	日	—	—	0.0077																						

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）																																																				
表 2.6.1～3 建設発生土運搬	<p>表 2.6 は、以下に読み替える。</p> <p>表 2.6.1 建設発生土運搬（工区内敷均し・団地内敷均し） （1 m³当たり）</p> <table border="1" data-bbox="491 293 1442 465"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>摘要</th> <th>単位</th> <th>フル3t</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フルトレーサ[®]運転</td> <td>3t 級</td> <td>日</td> <td>0.0077</td> <td rowspan="3">標準</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(労)×(12~20%)</td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 団地内敷均しにおいて、土運搬が必要な場合は、表 2.6.2 により別途運搬費を計上する。</p> <p>表 2.6.2 建設発生土運搬（工区内土運搬・団地内土運搬） （1 m³当たり）</p> <table border="1" data-bbox="491 663 1442 792"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>摘要</th> <th>単位</th> <th>工区内</th> <th>団地内</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フルトレーサ[®]運転</td> <td>3t 級</td> <td>日</td> <td>0.0077</td> <td>—</td> <td rowspan="2">標準 運搬日数(D)は、別表による</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>10t 積</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>D/100</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 団地内処分で堆積が必要な場合は、堆積費用(バックホ[®]損料等)を加算する。</p> <p>表 2.6.3 建設発生土運搬（団地外運搬） （1 m³当たり）</p> <table border="1" data-bbox="491 949 1442 1111"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>摘要</th> <th>単位</th> <th>一般</th> <th>小規模・ 人力土工</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>10t 積</td> <td>日</td> <td>D/100</td> <td>—</td> <td rowspan="2">運搬日数(D)は、別表による</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>4t 又は 2t 積</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>D/10</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 処分費を必要とする場合は加算する。 2. 適用機械については小規模土工は 4t、人力土工は 2t を標準とするが、現場状況等によりその使用が困難な場合は別途考慮する。</p>	名称	摘要	単位	フル3t	備考	フルトレーサ [®] 運転	3t 級	日	0.0077	標準	普通作業員		人	0.003	その他	(労)×(12~20%)	式	1	名称	摘要	単位	工区内	団地内	備考	フルトレーサ [®] 運転	3t 級	日	0.0077	—	標準 運搬日数(D)は、別表による	ダンプトラック運転	10t 積	日	—	D/100	名称	摘要	単位	一般	小規模・ 人力土工	備考	ダンプトラック運転	10t 積	日	D/100	—	運搬日数(D)は、別表による	ダンプトラック運転	4t 又は 2t 積	日	—	D/10
名称	摘要	単位	フル3t	備考																																																	
フルトレーサ [®] 運転	3t 級	日	0.0077	標準																																																	
普通作業員		人	0.003																																																		
その他	(労)×(12~20%)	式	1																																																		
名称	摘要	単位	工区内	団地内	備考																																																
フルトレーサ [®] 運転	3t 級	日	0.0077	—	標準 運搬日数(D)は、別表による																																																
ダンプトラック運転	10t 積	日	—	D/100																																																	
名称	摘要	単位	一般	小規模・ 人力土工	備考																																																
ダンプトラック運転	10t 積	日	D/100	—	運搬日数(D)は、別表による																																																
ダンプトラック運転	4t 又は 2t 積	日	—	D/10																																																	

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）															
別表 2.6 ダンプトラック 運搬日数(D)	<p><u>別表 2.6 として、以下を追記する。</u></p> <p>ダンプトラック運搬日数 (D) (100m³当たり・10 m³当たり) 運搬日数の算定式は次式による。</p> <p>q 1 ≤ q 2 の場合 (一般土工)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> $100\text{m}^3\text{当り運搬日数}(D) = 100\text{m}^3\text{当り運搬日数}(D1) \times \text{土の単位体積質量}(\gamma t) / 1.8$ </div> <p>(小規模土工)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> $10\text{m}^3\text{当り運搬日数}(D) = 10\text{m}^3\text{当り運搬日数}(D1) \times \text{土の単位体積質量}(\gamma t) / 1.8$ </div> <p>q 1 > q 2 の場合 (一般土工)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> $100\text{m}^3\text{当り運搬日数}(D) = 100\text{m}^3\text{当り運搬日数}(D1) \times 1.0$ </div> <p>(小規模土工)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> $10\text{m}^3\text{当り運搬日数}(D) = 10\text{m}^3\text{当り運搬日数}(D1) \times 1.0$ </div> <p>D 1 : 別表 2.6.1~2.6.7 による q 1 : ダンプトラックの積載量</p> $q 1 = \frac{T}{\gamma t} \cdot L$ <p>T : ダンプトラックの最大積載重量 γ t : 地山における単位容積重量 L : 土の変化率</p> $L = \frac{\text{掘りゆるめた状態の土量}}{\text{地山の形態の土量}}$ <p>q 2 : ダンプトラック平積み容量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">機 械 名</th> <th style="text-align: center;">規格(t 積み)</th> <th style="text-align: center;">平積み容量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">ダンプトラック</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">3.1</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">5.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">7.0</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規格(t 積み)	平積み容量(m ³)	ダンプトラック	2	1.7		4	3.1		8	5.2		10	7.0
機 械 名	規格(t 積み)	平積み容量(m ³)														
ダンプトラック	2	1.7														
	4	3.1														
	8	5.2														
	10	7.0														
別表 2.6.1 ダンプトラック 運搬日数	<p><u>別表 2.6.1 の</u> <u>「ダンプトラック運搬日数 (D)」は、「ダンプトラック運搬日数 (D 1)」に読み替える。</u></p>															
別表 2.6.2 ダンプトラック 運搬日数	<p><u>別表 2.6.2 の</u> <u>「ダンプトラック運搬日数 (D)」は、「ダンプトラック運搬日数 (D 1)」に読み替える。</u></p>															
別表 2.6.3 ダンプトラック 運搬日数	<p><u>別表 2.6.3 の</u> <u>「ダンプトラック運搬日数 (D)」は、「ダンプトラック運搬日数 (D 1)」に読み替える。</u></p>															
別表 2.6.4 ダンプトラック 運搬日数	<p><u>別表 2.6.4 の</u> <u>「ダンプトラック運搬日数 (D)」は、「ダンプトラック運搬日数 (D 1)」に読み替える。</u></p>															

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）																																										
表 2.7 建設発生土運搬 （小規模土工・人カ土工）	<u>表 2.7 の削除。</u>																																										
別表 2.7.1 ダンプトラック 運 搬 日 数	<u>別表 2.7.1 は、別表 2.6.5 と読み替える。またダンプトラック運搬日数（D）は、ダンプトラック運搬日数（D1）と読み替える。</u>																																										
別表 2.7.2 ダンプトラック 運 搬 日 数	<u>別表 2.7.2 は、別表 2.6.6 と読み替える。またダンプトラック運搬日数（D）は、ダンプトラック運搬日数（D1）と読み替える。</u>																																										
別表 2.7.3 ダンプトラック 運 搬 日 数	<u>別表 2.7.3 は、別表 2.6.7 と読み替える。またダンプトラック運搬日数（D）は、ダンプトラック運搬日数（D1）と読み替える。</u>																																										
表 2.8 土工機械運転	<u>表 2.8 は、表 2.7 と読み替える。また、以下に読み替える。</u> 表 2.7 土工機械運転 <div style="text-align: right;">（1日当たり）</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単価表</th> <th>運転労 務 (人)</th> <th>燃料(軽油) (L)</th> <th>機械損料 (供用日)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 普通 3t</td> <td>単価表 1 (別表 2.7.1)</td> <td>1.0</td> <td>27.4</td> <td>1.88</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>10t 積</td> <td>単価表 2 (別表 2.7.2)</td> <td>1.0</td> <td>72.0</td> <td>1.27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>4t 積</td> <td>単価表 2 (別表 2.7.2)</td> <td>1.0</td> <td>40.8</td> <td>1.27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>2t 積</td> <td>単価表 2 (別表 2.7.2)</td> <td>1.0</td> <td>26.4</td> <td>1.27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型 油圧式クローラ型 0.8m³</td> <td>単価表 1 (別表 2.7.1)</td> <td>1.0</td> <td>109</td> <td>1.58</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規 格	適 用 単価表	運転労 務 (人)	燃料(軽油) (L)	機械損料 (供用日)	備考	ブルドーザ	排出ガス対策型 普通 3t	単価表 1 (別表 2.7.1)	1.0	27.4	1.88		ダンプトラック	10t 積	単価表 2 (別表 2.7.2)	1.0	72.0	1.27		ダンプトラック	4t 積	単価表 2 (別表 2.7.2)	1.0	40.8	1.27		ダンプトラック	2t 積	単価表 2 (別表 2.7.2)	1.0	26.4	1.27		バックホウ	排出ガス対策型 油圧式クローラ型 0.8m ³	単価表 1 (別表 2.7.1)	1.0	109	1.58	
機械名	規 格	適 用 単価表	運転労 務 (人)	燃料(軽油) (L)	機械損料 (供用日)	備考																																					
ブルドーザ	排出ガス対策型 普通 3t	単価表 1 (別表 2.7.1)	1.0	27.4	1.88																																						
ダンプトラック	10t 積	単価表 2 (別表 2.7.2)	1.0	72.0	1.27																																						
ダンプトラック	4t 積	単価表 2 (別表 2.7.2)	1.0	40.8	1.27																																						
ダンプトラック	2t 積	単価表 2 (別表 2.7.2)	1.0	26.4	1.27																																						
バックホウ	排出ガス対策型 油圧式クローラ型 0.8m ³	単価表 1 (別表 2.7.1)	1.0	109	1.58																																						
別表 2.8.1 運転1日当たり 単 価 表 1	<u>別表 2.8.1 は、別表 2.7.1 と読み替える。また、以下に読み替える。</u> 別表 2.7.1 運転1日当たり単価表 <div style="text-align: right;">（1日当たり）</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>摘 要</th> <th>単 位</th> <th>所 要 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊運転手</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 2.7 による</td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>L</td> <td></td> <td>表 2.7 による</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td></td> <td>供用日</td> <td></td> <td>表 2.7 による</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>(労) × (12~20%)</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考	特殊運転手		人		表 2.7 による	燃 料 費		L		表 2.7 による	機 械 損 料		供用日		表 2.7 による	そ の 他	(労) × (12~20%)	式	1																		
名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考																																							
特殊運転手		人		表 2.7 による																																							
燃 料 費		L		表 2.7 による																																							
機 械 損 料		供用日		表 2.7 による																																							
そ の 他	(労) × (12~20%)	式	1																																								

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）																																				
別表 2.8.2 運転1日当たり 単価表 2	<p><u>別表 2.8.2 は、別表 2.7.2 と読み替える。また、以下に読み替える。</u></p> <p>別表 2.7.2 運転1日当たり単価表 (1日当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>摘 要</th> <th>単 位</th> <th>所 要 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊運転手</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 2.7 による</td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>L</td> <td></td> <td>表 2.7 による</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td></td> <td>供用日</td> <td></td> <td>表 2.7 による</td> </tr> <tr> <td>タイヤ損耗費</td> <td></td> <td>供用日</td> <td></td> <td>所要量は機械損料による</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>(労)×(12~20%)</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考	特殊運転手		人		表 2.7 による	燃 料 費		L		表 2.7 による	機 械 損 料		供用日		表 2.7 による	タイヤ損耗費		供用日		所要量は機械損料による	そ の 他	(労)×(12~20%)	式	1							
名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考																																	
特殊運転手		人		表 2.7 による																																	
燃 料 費		L		表 2.7 による																																	
機 械 損 料		供用日		表 2.7 による																																	
タイヤ損耗費		供用日		所要量は機械損料による																																	
そ の 他	(労)×(12~20%)	式	1																																		
6 節 型枠工事 表 6.2 貫通用スリーブ	<p><u>表 6.2 として、以下を追記する。（「その他工事」から「型枠工事」へ移動）</u></p> <p>表 6.2 貫通用スリーブ (1m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>摘 要</th> <th>単 位</th> <th>所 要 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ス リ ー ブ</td> <td></td> <td>m</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.116</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>(材+労)×(12~20%)</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考	ス リ ー ブ		m	1.0		型 枠 工		人	0.116		そ の 他	(材+労)×(12~20%)	式	1																	
名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考																																	
ス リ ー ブ		m	1.0																																		
型 枠 工		人	0.116																																		
そ の 他	(材+労)×(12~20%)	式	1																																		
表 10.10 内装壁タイル (接着張り)	<p><u>表 10.10 として、以下を追記する。</u></p> <p>表 10.10 内装壁タイル（接着張り） (1㎡当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">摘 要</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>所 要 量</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>100 mm角</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内 装 タ イ ル</td> <td></td> <td>枚</td> <td>102</td> <td></td> </tr> <tr> <td>接 着 剤</td> <td>JIS A5548</td> <td>kg</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>白セメント</td> <td></td> <td>kg</td> <td>0.17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タ イ ル 工</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.05</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>(材+労)×(10~15%)</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 接着剤は、タイプ I 又は II とする。</p>	名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考	100 mm角	内 装 タ イ ル		枚	102		接 着 剤	JIS A5548	kg	1.5		白セメント		kg	0.17		タ イ ル 工		人	0.18		普通作業員		人	0.05		そ の 他	(材+労)×(10~15%)	式	1	
名 称	摘 要				単 位		所 要 量	備 考																													
		100 mm角																																			
内 装 タ イ ル		枚	102																																		
接 着 剤	JIS A5548	kg	1.5																																		
白セメント		kg	0.17																																		
タ イ ル 工		人	0.18																																		
普通作業員		人	0.05																																		
そ の 他	(材+労)×(10~15%)	式	1																																		
17 節 内外装工事 1 一般事項	<p><u>1 一般事項 (1) 及び (2) は、以下に読み替える。</u></p> <p>(1) 表 17.1～表 17.4 の細目工種は、標準歩掛りを適用する。</p> <p>(2) ビニル床シート張り及びビニル幅木張り、せっこうボード張り、けい酸カルシウム板張り、ロックウール吸音板張り、壁紙素地ごしらえの単価は、1章2節 1.2.3 「市場単価」による。</p>																																				
17 節 内外装工事 表 17.5 壁紙素地ごしらえ (せっこうボード面 及び合板面)	<u>表 17.5 の削除。（「5 編 参考資料」へ移動）</u>																																				
表 17.6 壁紙素地ごしらえ (コンクリート面)	<u>表 17.6 の削除。（「5 編 参考資料」へ移動）</u>																																				

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）
19 節 その他工事 表 19.1 貫通用スリーブ	<u>表 19.1 の削除。（「その他工事」から「型枠工事」へ移動）</u>

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）
5編 参考資料 1章 参考歩掛	
4節 鉄筋工事 表4.5 鉄筋組立 (壁式構造) 表4.6 鉄筋組立 (ラーメン構造) 表4.7 鉄筋組立 (鉄筋鉄骨構造)	<u>表4.5～表4.7に、以下を追記する。</u> (注) 1. コンクリート打設時の鉄筋点検・保守を含む。
6節 型枠工事 表6.1 普通合板型枠 (独立基礎、 布基礎) 表6.2 普通合板型枠 (地中梁、壁) 表6.3 普通合板型枠 (床) 表6.4 普通合板型枠 (柱) 表6.5 普通合板型枠 (梁) 表6.6 打放し合板型枠 (地中梁、壁) 表6.7 打放し合板型枠 (床) 表6.8 打放し合板型枠 (柱) 表6.9 打放し合板型枠 (梁)	<u>表6.1～表6.9に、以下を追記する。</u> (注) 3. コンクリート打設時の型枠点検・保守を含む。

項目	建築工事積算特記基準（平成23年4月版）																																																																								
8節 防水工事 表 8.1 屋根保護防水 密着工法	<p>表 8.1 は、以下に読み替える。</p> <p style="text-align: right;">(1㎡当たり)</p> <table border="1" data-bbox="488 253 1442 745"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>摘 要</th> <th>単 位</th> <th>平 面</th> <th>立上り部</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトプライマー</td> <td></td> <td>kg</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルト</td> <td>3種</td> <td>kg</td> <td>5.0</td> <td>6.13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゴムアスファルト系シール材</td> <td></td> <td>L</td> <td>—</td> <td>0.25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルトルーフィング</td> <td>1500</td> <td>㎡</td> <td>1.14</td> <td>1.14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網状アスファルトルーフィング</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>—</td> <td>0.19</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ストレッチルーフィング</td> <td>1000</td> <td>㎡</td> <td>2.28</td> <td>2.28</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砂付ストレッチルーフィング</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>—</td> <td>1.14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃 料</td> <td>重油</td> <td>L</td> <td>1.5</td> <td>1.84</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防 水 工</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.059</td> <td>0.115</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.021</td> <td>0.036</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>(材+労+雑)×(10~15%)</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	摘 要	単 位	平 面	立上り部	備 考	アスファルトプライマー		kg	0.2	0.2		アスファルト	3種	kg	5.0	6.13		ゴムアスファルト系シール材		L	—	0.25		アスファルトルーフィング	1500	㎡	1.14	1.14		網状アスファルトルーフィング		㎡	—	0.19		ストレッチルーフィング	1000	㎡	2.28	2.28		砂付ストレッチルーフィング		㎡	—	1.14		燃 料	重油	L	1.5	1.84		防 水 工		人	0.059	0.115		普 通 作 業 員		人	0.021	0.036		そ の 他	(材+労+雑)×(10~15%)	式	1	1	
名 称	摘 要	単 位	平 面	立上り部	備 考																																																																				
アスファルトプライマー		kg	0.2	0.2																																																																					
アスファルト	3種	kg	5.0	6.13																																																																					
ゴムアスファルト系シール材		L	—	0.25																																																																					
アスファルトルーフィング	1500	㎡	1.14	1.14																																																																					
網状アスファルトルーフィング		㎡	—	0.19																																																																					
ストレッチルーフィング	1000	㎡	2.28	2.28																																																																					
砂付ストレッチルーフィング		㎡	—	1.14																																																																					
燃 料	重油	L	1.5	1.84																																																																					
防 水 工		人	0.059	0.115																																																																					
普 通 作 業 員		人	0.021	0.036																																																																					
そ の 他	(材+労+雑)×(10~15%)	式	1	1																																																																					
表 8.2 屋根保護防水 絶縁工法	<p>表 8.2 の削除。</p>																																																																								
表 16.9 壁紙素地ごしらえ (せっこうボード面 及び合板面)	<p>表 16.9 として、以下を追記する。</p> <p>表 16.9 壁紙素地ごしらえ (せっこうボード面及び合板面)</p> <p style="text-align: right;">(1㎡当たり)</p> <table border="1" data-bbox="488 1075 1442 1252"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>摘 要</th> <th>単 位</th> <th>所 要 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シ ョ イ ン ト セ メ ン ト</td> <td></td> <td>kg</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内 装 工</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.007</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>(材+労)×(10~15%)</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. せっこうボード面の目地処理が、継目処理工法の場合は、適用しない。</p>	名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考	シ ョ イ ン ト セ メ ン ト		kg	0.2		内 装 工		人	0.007		そ の 他	(材+労)×(10~15%)	式	1																																																					
名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考																																																																					
シ ョ イ ン ト セ メ ン ト		kg	0.2																																																																						
内 装 工		人	0.007																																																																						
そ の 他	(材+労)×(10~15%)	式	1																																																																						
表 16.10 壁紙素地ごしらえ (コンクリート面)	<p>表 16.10 として、以下を追記する。</p> <p>表 16.10 壁紙素地ごしらえ (コンクリート面)</p> <p style="text-align: right;">(1㎡当たり)</p> <table border="1" data-bbox="488 1541 1442 1718"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>摘 要</th> <th>単 位</th> <th>所 要 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕上塗材用下地調整塗料材</td> <td>JIS A 6916</td> <td>kg</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>左 官</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.02</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>(材+労)×(10~15%)</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考	仕上塗材用下地調整塗料材	JIS A 6916	kg	1.5		左 官		人	0.02		そ の 他	(材+労)×(10~15%)	式	1																																																					
名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考																																																																					
仕上塗材用下地調整塗料材	JIS A 6916	kg	1.5																																																																						
左 官		人	0.02																																																																						
そ の 他	(材+労)×(10~15%)	式	1																																																																						